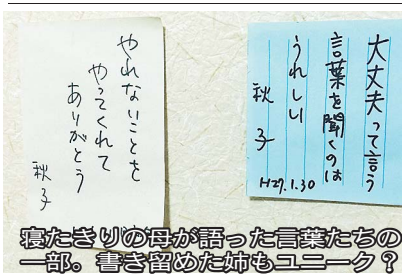


道路ユーザーネットワーク広場

NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK



寝たきりの母が語った言葉たちの一部。書き留めた姉もユニーク？



枕元の写真盾。左は松山城での初デート。最後まで一緒に居た幸せ者也

かな毎日の平穏だったはず。とはいえ、普通の家庭のように我が家もいろいろ問題が勃発し、四姉妹はみな強く逞しく立ちまわっていました。介護に関しては喧嘩、論争をしながらもそれに付き合ひ、姉妹みなが頑張った。その仕上げの葬儀だけに、私も本気で取り組みました。

母が逝ったことに気づいた私は、姉たちに電話し、真夜中でしたが、すぐに火葬場の受付へ連絡。お医者さんの死亡確認後、みんな一緒に納棺、湯灌・お清め・身づくろい・死化粧も看護師の方と一緒に姉妹でやりました。姉たちも庭の花をあつめて献花し、意外と冷静です。翌日も諸手続で寝る暇もなかったものの、全てを自分たちで敢行。そして最大の難関だったのは、やはり本葬でした。「火葬場へ愛車での遺体搬送」を考えて棺を用意したのに、市が提携している火葬場は、葬儀社を通さないといけないと。父は「父の死を尊重し、我々が一死懸命取り組んだ介護の最後をきちんと締めくくったかった。手間はかかっても三好家らしくオリジナルでやりたかった。ここが正念場とばかりに何十件も電話し、ようやく持ち込み可能な市営火葬場を探してあげました。都下の小さな火葬場でしたが、とても温かいところで、煙になつていく母をずっと見る事ができました。係の方が「普通の自家用車で棺を運んで来て、家族で般若心経もあげて、すごいね」と言ってくれて、嬉しかった。山場はまだ続きます。散骨は業者で考えていたのに、法律で2ミリ以下にする粉骨も海洋で行う散骨も自分でやることにしたからです。伝えると、一瞬、姉妹は後ずさりしましたが、すぐに大賛成。作業担当の私は、愛車で骨壺2つをせせと松本の自宅へ運び、コソコソと粉骨しました。言葉にするに恐ろしい光景かもしれないが、57年間の思い出が溢れ、父と母がともにも近くなった気がしました。固くて、脆くて、切なくて、まるで珊瑚礁のようには美しい骨たち。一筋縄ではいかないの、いろいろな思いや会話が生まれる。人の命の尊さと神秘に感動しっぱなしの3時間。ザル振りで腫痛炎になりましたが、不思議と爽やかな気持ちになりました。両親ともに89歳。その生涯で教えてくれたことは多かったものの、最後に教えてくれたことは最大級でした。生きていた間にあったことは全て綺麗に処理して旅立たんだな、この骨にはもうおらず、魂は出て行って遊んでいるんだ。粉骨するのと、父は2手口。骨粗鬆症

福岡市の西部から佐賀県唐津市へ抜ける旧唐津街道沿いに美しい松林が広がっています。福岡市内にあるのは「生(いき)の松原」、また唐津市寄りにあるのが「虹の松原」です。いずれも玄海国立公園内にあり、とりわけ虹の松原は日本三大松原のひとつに選ばれている素晴らしい景勝地です。

私はこのルートをドライブするのが大好き。海沿いの道路は本当に気持ちがいい。時には松林の木漏れ日の下を、時にはキラキラと光る海を眺めながら走る爽快感は格別です。内陸部に交通の便がよい高速道路がありますが、春先からの気候のいいシーズンは遠回りでもこの道を通りたくなります。



最近のクルマはボーンネットを開けたところ、何がなんだか分かりません。交通安全を実現するのはドライバーだけです。行政が提供できる安全は道路や橋やトンネル等のハードだけです。自動車の安全はドライバーが提供できる安全はドライバーだけです。交通安全を実現するのはドライバーだけです。行政が提供できる安全は道路や橋やトンネル等のハードだけです。自動車の安全はドライバーが提供できる安全はドライバーだけです。

母は要介護5で4年の自宅介護(最後の2年間は寝たきり)があったため、介護は次女が担当。そしてネットワークのいい私が葬儀担当になりました。当初は父の時と同じく葬儀会社に頼んで小さな家族葬をと思っていたのに、調べていくうちに、「極力自分たちでやろう」と決心。「柩や骨を費やし、楽しみはささや

自動車の排ガス、燃費不正が次々と暴露されましたね。私事ではありますが、はなからカタログデータなど信頼していません。単なる目安としてとらえてます。海外ではカタログ通りじゃないからと訴訟を起す。こされたこともあるようです。ちょっと話がそれますが、地球温暖化防止の流れの中でカーボンオフセットと称して、金銭で削減達成数字を売り買ひするなど、環境問題に目をつけた一部の人か、集団か、



国が・が作り出した新車の販売にしかかきません。本末転倒！失礼しました。クルマを理解して楽しんで、これから夏に向けて、オーバーヒートやバッテリーあがりなど注意すべき点が多々あります。タイヤの空気圧チェックや燃料量の確認も大事な乗車前点検項目です。

母が息を引き取ったのは、ちょうど「道路ふれあい月間」推進標語の審査会が終わった直後。無類の綺麗好きだったので、中学生の最優秀賞、「道さけい」そんな所は「人さけい」は胸に響きました。大好きな文字を書けなくなり、寝たきりを恐れていた母の口癖は、「礼子ちゃん、動ける事に何でも挑戦しなさい」。10代の娘を日本一周に送り出してくれた両親は、どこかで自分たちの夢を重ねていたのかも知れません。父は退職後、母の介護を担いだために、大好きな釣りを断念。母は給湯器になりたかたの、親の反対で普通の主婦に。時代もありますが、家族のために人生を費やし、楽しみはささや

福岡市の西部から佐賀県唐津市へ抜ける旧唐津街道沿いに美しい松林が広がっています。福岡市内にあるのは「生(いき)の松原」、また唐津市寄りにあるのが「虹の松原」です。いずれも玄海国立公園内にあり、とりわけ虹の松原は日本三大松原のひとつに選ばれている素晴らしい景勝地です。



の。その後も手厚く管理され、現在のような見事な姿になりました。海岸沿いの松林は都市化とともに姿を消しつつあり、今では福岡市内には生日の大きな揺れはとも不安でした。今も避難生活を送り、生活の再建にご苦労されている熊本・大分の方々に、必ず蘇る日が来ることを信じています。(写真提供：福岡市)

母が逝ったことに気づいた私は、姉たちに電話し、真夜中でしたが、すぐに火葬場の受付へ連絡。お医者さんの死亡確認後、みんな一緒に納棺、湯灌・お清め・身づくろい・死化粧も看護師の方と一緒に姉妹でやりました。姉たちも庭の花をあつめて献花し、意外と冷静です。翌日も諸手続で寝る暇もなかったものの、全てを自分たちで敢行。そして最大の難関だったのは、やはり本葬でした。「火葬場へ愛車での遺体搬送」を考えて棺を用意したのに、市が提携している火葬場は、葬儀社を通さないといけないと。父は「父の死を尊重し、我々が一死懸命取り組んだ介護の最後をきちんと締めくくったかった。手間はかかっても三好家らしくオリジナルでやりたかった。ここが正念場とばかりに何十件も電話し、ようやく持ち込み可能な市営火葬場を探してあげました。都下の小さな火葬場でしたが、とても温かいところで、煙になつていく母をずっと見る事ができました。係の方が「普通の自家用車で棺を運んで来て、家族で般若心経もあげて、すごいね」と言ってくれて、嬉しかった。山場はまだ続きます。散骨は業者で考えていたのに、法律で2ミリ以下にする粉骨も海洋で行う散骨も自分でやることにしたからです。伝えると、一瞬、姉妹は後ずさりしましたが、すぐに大賛成。作業担当の私は、愛車で骨壺2つをせせと松本の自宅へ運び、コソコソと粉骨しました。言葉にするに恐ろしい光景かもしれないが、57年間の思い出が溢れ、父と母がともにも近くなった気がしました。固くて、脆くて、切なくて、まるで珊瑚礁のようには美しい骨たち。一筋縄ではいかないの、いろいろな思いや会話が生まれる。人の命の尊さと神秘に感動しっぱなしの3時間。ザル振りで腫痛炎になりましたが、不思議と爽やかな気持ちになりました。両親ともに89歳。その生涯で教えてくれたことは多かったものの、最後に教えてくれたことは最大級でした。生きていた間にあったことは全て綺麗に処理して旅立たんだな、この骨にはもうおらず、魂は出て行って遊んでいるんだ。粉骨するのと、父は2手口。骨粗鬆症

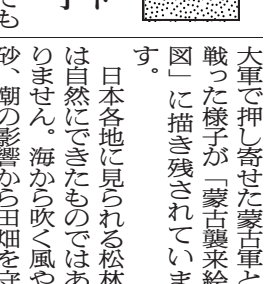
福岡市の西部から佐賀県唐津市へ抜ける旧唐津街道沿いに美しい松林が広がっています。福岡市内にあるのは「生(いき)の松原」、また唐津市寄りにあるのが「虹の松原」です。いずれも玄海国立公園内にあり、とりわけ虹の松原は日本三大松原のひとつに選ばれている素晴らしい景勝地です。



の。その後も手厚く管理され、現在のような見事な姿になりました。海岸沿いの松林は都市化とともに姿を消しつつあり、今では福岡市内には生日の大きな揺れはとも不安でした。今も避難生活を送り、生活の再建にご苦労されている熊本・大分の方々に、必ず蘇る日が来ることを信じています。(写真提供：福岡市)



無類の釣り好きだった自衛官の父。対馬の海が一番のお気に入りでした。



終焉の演出はバラ。いつまでも漂い「また来てね」と言われた様な。

松原を背景に再現された元寇防塁の跡。

★三好礼子の★
ナチュラル・ロード



三好礼子
エッセイスト・国際リスト
http://www.fairytale.jp/~